

ナンバリング	B①09	科目名	乳児保育Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	田中 悦子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②		
テキスト	「やさしい乳児保育」青踏社		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1 単位 演習
到達目標	1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 3. 乳児保育における配慮に実際について、具体的に理解する。 4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭に置いた保育を示す。		
授業の概要	夏期の乳児保育体験での経験をふりかえりながら、養護及び教育の一体性を踏まえた乳児保育の内容と方法を学ぶ。また、個々の生活リズムを大切にする乳児保育の計画や環境構成等と、その際の配慮の実際についての具体的理解を深める。		
授業計画	第1回 前期学習内容の確認、乳児保育体験の振り返り 第2回 発育・発達を踏まえた生活と援助の実際～授乳等～ 第3回 保育者の役割①乳児保育体験を通して～自己の育ち、学びの芽生えを育む～ 第4回 保育者の役割②乳児保育体験を通して～子どもと保育者の関係性～ 第5回 乳児保育における環境構成～環境を通じた関わり～ 第6回 乳児保育における環境構成(乳児保育体験を通して)～遊びの環境づくり～ 第7回 保育者の役割(乳児保育体験を通して)～受容的・応答的関わり・個に応じた援助～ 第8回 発育・発達を踏まえた生活と援助の実際～排泄等～ 第9回 乳児保育における配慮の実際～健康・安全等～ 第10回 乳児保育における計画、記録、評価とその意義～長期・短期の計画の実際～ 第11回 発育、発達を踏まえたあそびと援助の実際～手遊び・絵本～ 第12回 発育、発達を踏まえたあそびと援助の実際～玩具づくり～ 第13回 発育、発達を踏まえたあそびと援助の実際～手作り玩具を通じた遊び・演習～ 第14回 これまでの学習成果とまとめ 第15回 後期の学習の確認、振り返り		

準備学習と必要時間					
評価方法	・授業時間内の取り組み(討議や演習への積極的な取り組み及びレポート提出) —20% ・期末試験—80% ※再試験あり(おおよそ試験結果発表後 2 週間以内)				
参考文献	「保育所保育指針解説」厚生労働省編				
特記事項					
課題へのフィードバック方法	試験後、模範解答を提示して解説を行います。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					